

相生サービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



ヒメサユリ

田園のおもむきも格別に
鏡のようなその水田に、
空が映っています。山が映っています。

ただ、それだけの構図のなかに
格別な美しさが
あります。
明日には田植え
も始まるでしょう。

名歌
馬鈴薯の
うす紫の花に降る
雨を思へり
都の雨に
石川啄木



田植え



別った草を馬で運ぶ

清少年の
きよし 絵日記より
さくら市の
渡辺清が記した。
(明治41年6月)

心洗われる
苔庭

箱根美術館



今が旬



ねまがりだけ

床屋さん
10(水)
18(木)
26(金)

15日は
栃県民の日
明治6年
宇都宮県と栃木県が
合併。(6月15日)

夏至の頃に

真夜中になっても
暗くならない現象
白夜(はくや)

北極圏付近では
夏至の頃に
南極圏付近では
12月下旬頃に。

小説のなかの風景



「あさかぜ」の食堂車 1958(昭和33)年頃

松本清張
「点と線」
「あれは、
九州の博多行の
特急だよ、
あさかぜ号だ」

君と
いふ字に
(タナカ
サダユキ)
朝日新聞
に掲載

しばらくは
離れて暮らす
コとロとナ
つぎ逢ふ時は

「何、言ってるの
私たちの理想が
毎年下がってる
のよ」
「この会社も
毎年レベルが
あがってるわ」
「おえ、今度入った彼
ステキね」

ユーモアくらぶ
相対性……
ふたりの〇Lが話を
している
「おえ、今度入った彼
ステキね」

天声珍語
雨の日だった。
となりにはA子
車は
高原を走って
いた。
「ファイパーが
いそがしく動く。
雨、
強くなったみたい
ちよつと
休んだら」
誤解が生じる
のはこんな
時だ。
(ちよつと休んだら)
この言葉の意味
をはきちがえ
るのだ。
車は止まった。
ふたりの息で
フロントガラス
が曇った。
沈黙のなかで
A子は視線を
そらした。
ファイパーが
はげしく
首を横に振
っている。
ススム